

PURPOSE(存在意義) 実現に向けて

「底力と対応力」を身につける 研修の提供

- 顧客にひたすら集中する
- “失敗は間違いとは違う”根拠なく恐れず、新しいサービスのひらめきを行動に移す
- 誰かの行動を待つのではなく、スピード感を持って取り組む
- 好奇心を持ち、失敗や経験から学ぶ

地域住民と医療・看護・介護職に 「学び」「育み」「つむぐ」を届ける

- 看護職と多職種間の連携強化を意識した研修やイベントを企画・実施する
- 地域住民と看護職をつなぎ、健康な生活や幸せを育み命をつなげていく

利用者と地域の看護職等の望みを 叶えるステーション

- 【訪問看護事業】
地域の特徴に合わせた質の高い看護・リハビリの提供
- 【居宅介護支援事業】
使いやすく信頼され、地域に選ばれる

教育部

事業部

訪問看護
ステーション

知の

これから東京都看護協会が社会の中で果たすべき役割は何か、何を目指していくのかをPURPOSE（パーパス）=存在意義として決めました。このPURPOSEを事業展開の根幹に置いて、社会課題と向き合いながら持続的な成長を遂げるために、戦略的に取り組んでいます。

看護職の安心・安全を支える

- 看護協会は、新型コロナ対策や災害支援などの緊急時には看護職の安心と安全の礎となっている
- 支援内容・支援のスピード・支援体制を整備し、「看護の知の拠点」として信頼される存在となることを目指す
- 「看護の知の拠点」である看護協会の会館の整備・整頓を通して、看護職が利用したくなる看護協会を目指す

危機管理室

「人間力」が高い チームを目指す

- コミュニケーション力
- リーダーシップ
- 状況判断と適応力

「前へ」

困難や難題に直面しても、かわすことなくためらわず「前へ」進め

総務部

拠点

看護職充足への寄与と係間の連携

- 看護職の質・量確保に欠くことのできない事業所として認知されることを目指す
- 看護職と求人施設のトータルサポートを継続して実施する
- 令和3年度は、看護職確保の成果を示すこと、コロナ禍においても事業を推進すること、係内・係間の連携を促進することの3点に重点を置いて事業運営を行う

東京都
ナースプラザ